

令和元年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	サイデン化学アリーナ(さいたま市記念総合体育館)
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市桜区道場4-3-1</p> <p>②施設の設置目的 市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図る。</p> <p>③施設の概要 平成15年6月1日開館 建築面積 13,894.53㎡ 建物面積 17,739.75㎡ メインアリーナ、サブアリーナ、多目的室、温水プール、トレーニング室、フィットネススタジオ、弓道場、ランニングコース、会議室、研修室 他</p>
(3)指定管理者	<p>スポーツのまち さいたまパートナーズ ※代表企業 コナミスポーツ(株) 構成企業 日本メックス(株)、(株)埼玉新聞</p>
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成30年4月1日～令和5年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成29年度:130,000千円、平成30年度:116,311千円、令和元年:117,388千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 【利用件数】220,685件(前年240,339件) 【利用人数】455,610人(前年481,018人) 【利用率】メインアリーナ:80.9%(前年79.1%)、サブアリーナ:80.3%(前年75.9%)、多目的室:74.4%(前年76.4%)</p> <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者登録及び申込み受付業務(施設の利用許可)</li> <li>・公共施設予約システムによる貸出し管理</li> <li>・事業計画書に基づく業務(市民スポーツの普及・支援・指導など)</li> </ul> <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防設備点検 年2回</li> <li>・自家用電気工作物点検 月次・年次</li> <li>・大型空調機保守点検 月1回</li> <li>・エレベーター保守点検 月1回</li> <li>・自動ドア保守点検 年1回</li> <li>・事業系一般廃棄物収集運搬業務 週3回</li> <li>・産業廃棄物収集運搬処理業務 年1回</li> <li>・自動制御設備点検 年1回</li> <li>・中央監視装置総合点検 年1回</li> <li>・建築設備定期検査 年1回</li> <li>・特殊建築物定期調査 3年に1回</li> <li>・プール水水質検査 月1回</li> <li>・プール濾過設備保守点検 年2回</li> <li>・プール可動床保守点検 年1回</li> <li>・体育器具保守点検 年1回</li> </ul> <p>③その他(自主事業等)</p> <p>スポーツ教室(プール教室、空手教室、チアダンス、キッズダンス、初心者卓球教室、親子体操教室、ママとベビーの体操教室、弓道教室等)の開催、スポーツフェスティバルの開催、無料開放事業(エンジョイサタデー)の開催</p>

(6)収支状況	①収入 ・利用料金収入 104,363千円(前年度108,266千円) ・指定管理料 117,388千円(前年度116,311千円) ・自主事業 33,492千円(前年度39,473千円) ②支出 ・人件費 116,953千円(前年度118,903千円) ・事務費 28,964千円(前年度39,689千円) ・施設管理費 111,624千円(前年度108,399千円) ・事業費 11,677千円(前年度14,176千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	平成31年4月1日～4月20日及び令和元年11月15日～12月10日の2回実施。故障していたトレーニング器具等を修理対応や、チアダンス教室の時間帯を2クラスから3クラス(幼児・小学1年～3年・小学4年～6年)にするなど、市民の要望を反映した。
(8)その他	

## 2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
年2回イベントを開催することで、市民のスポーツへの関心を高める。	11月3日にスポーツフェスタを実施し、無料開放事業を行った。毎月エンジョイサタデー等開催し、無料でバドミントン・卓球・トランポリン等が利用できるよう施設を開放した。
地域連携事業年7回開催し、施設を利用したことのない方にきっかけづくりを行う。	職場体験学習として中学校6校からの受け入れを実施した。ラグビーワールドカップの支援活動、ミニ桜区でも事業協力を行った。
教室開催5,400教室開催し、スポーツ実施する機会の創出を図る。	年間5,400教室を超える自主事業を開催し、利用者がスポーツを行う場所の提供を行った。また、新設の教室(初心者を対象とした水泳教室、フラダンス初級教室等)も開催した。
スポーツコミッションと連携をはかる。	年2回(5月及び12月)の打ち合わせを行い、誘致大会の開催内容等について意見交換をした。

## 3. 評価

(1)指定管理者による評価

<p><b>【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が気軽に立ち寄り施設利用者がくつろいだりできるように、市民ロビーに軽食(パン等)を購入できる自販機を設置した。</li> <li>・市民ロビーにスポーツ協会の情報コーナーを設置した。</li> <li>・トレーニングルーム初心者説明会の会場を広いスペースのプール観覧席側で実施。これにより、説明会参加者に対し、プールの案内をすることができ、利用促進に繋げることができた。</li> <li>・Wi-Fiを設置し、インターネットに接続しやすい環境を整備。アリーナ側でも使用できるように場所の検討、設置を行った。</li> </ul> <p><b>【経費の削減】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者が内部で使用する資料は、白黒の両面印刷でプリントすることを徹底している。</li> <li>・光熱費削減のため、LED照明に切り替えることを検討。見積書を準備するなどLED導入に向けた準備を行っている。</li> </ul> <p><b>【適正な管理運営の確保】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の大型台風の経験から、洪水対策として「風水害対応マニュアル」の作成準備を開始。令和2年度上半期の完成を目標とし、これまで以上の安全な施設運営づくりに努める。</li> <li>・プール男子更衣室ロッカーの一部老朽化に伴い、入れ替え作業を実施。利用者の安全を確保した。</li> </ul>
--

(2)さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局スポーツ部スポーツ振興課)

総合評価 (B) ※A~D

1 項目別の評価

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】

Wi-Fiをより利便性の高い場所に設置し、市民サービスの向上を図った。また、大小さまざまな事業を数多く開催することにより、施設の利用促進や市民のスポーツ振興を図った。

【経費の削減】

円滑で無駄のない予算執行を心がけ、節電努力や両面印刷などにより、光熱水費などの経費を抑えた。

【適正な管理運営の確保】

協定書等に従って業務を適切に履行し、施設点検等を行った。ほか、災害時対応マニュアルの作成に着手するなど、より安全な施設の管理運営に努めている。

2 総合評価

他施設、他自治体での指定管理者経験を生かし、適正な施設管理が行われた。施設の整備を積極的に行い、施設の安全性の確保、設備の保全に努めた。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

- ・利用者の安全確保、利用者の利便性の向上とサービス品質の向上
- ・利用者アンケートを踏まえた利用者満足度の向上
- ・危機管理体制の再確認
- ・情報セキュリティ体制の再確認